

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境保全推進課
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	レジ袋等削減推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、ごみの発生抑制に向けた取組として、事業者、市民団体、市の三者により、レジ袋等の削減に関する協定を締結し、協働してレジ袋の削減を推進する。引き続き、事業者に対し、協定への参加の呼びかけを行い、賛同を得られた事業者と協定を締結する。		
	29年度概要	協定に賛同を得られた事業者と「レジ袋等削減に関する協定」を締結し、レジ袋等削減を協働して推進する。また、同一基本事業である「事業系ごみ減量推進事業」の協力事業所（多量排出事業者・地球にやさしいオフィス・地球にやさしい店）へもレジ袋削減への協力を呼びかける。	
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	市内のスーパー、ホームセンター等の事業者
意図（どのような状態にしたいか）	レジ袋等削減の協定事業者の買い物袋持参率（レジ袋削減率）を向上させ、レジ袋等の削減を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
協定締結事業者の年間平均レジ袋削減率	%			29.4	29.6	30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数	千枚	目標値			10,807	10,955	11,103
		実績値			10,881		
<b>成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）</b> 協定締結事業者の年間平均レジ袋削減率は、中期目標30パーセントに向け、毎年0.2ポイントずつの増加を目指す。なお、平成28年度末現在の累積削減推計値は、72,021千枚で、当面の累積削減目標である1億枚を目指す。また、平成28年度の目標達成度は、100.7パーセントであった。	(目標達成度)		(達成度)	100.7%			
<b>成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）</b> (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,580	4,257	4,318	3,534
（事業費）	[円]	151	35	0	1
（職員人件費）	[円]	4,429	4,222	4,318	3,533

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
----------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 28年度は、買い物袋持参によるレジ袋の削減を効果的に推進するため、店舗内告知用看板を、協定締結事業者の店舗入口やレジ横等視覚効果の高い場所に設置する等により、恒常的な意識啓発に効果があった。平成 28年度末現在で、8事業者、22店舗に設置している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成 28年度に引き続き、協定締結事業者の店舗入口やレジ横等視覚効果の高い場所に、店舗内告知用看板やポスター等を設置する等、恒常的な意識啓発を目指すとともに、同一基本事業である「事業系ごみ減量推進事業」の協力事業所（多量排出事業者・地球にやさしいオフィス・地球にやさしい店）へもレジ袋削減への協力を呼びかける。